

主力製品 高級西陣織テキスタイル

○本社所在地：京都府京都市
○事業概要：帯、きもの、インテリア・建築・外装ファブリックの企画、製造卸、販売
○常時使用する従業員：74人（グループ全体・2024年6月期）
○現在の売上高：13億円（グループ全体・2024年6月期）
○法人番号：5130001022505
○Web：<https://www.hosoo.co.jp>
ブランドムービー：
<https://www.hosoo-kyoto.com/jp/craftsmanship/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

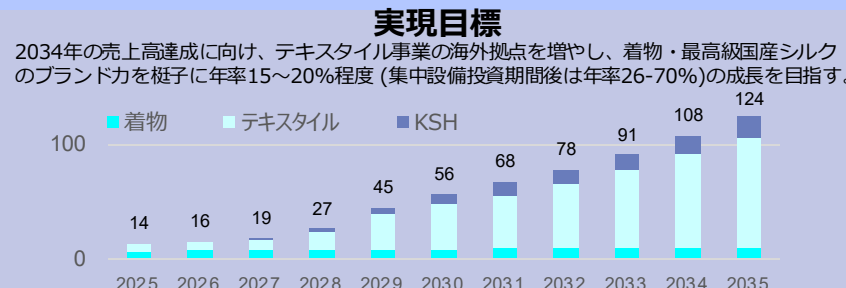


代表取締役社長
細尾 真孝

西陣から世界へ：日本の工芸・文化が切り拓く未来の産業革命

株式会社細尾は、1200年以上の伝統を持つ西陣織の技術を活かし、日本の着物文化と工芸の誇りを背景に、伝統工芸が“斜陽産業”と呼ばれる現状に挑み、大阪万博やミラノ・サローネ出展等の実績を経て世界と対話するラグジュアリーブランド構築に取り組んできました。私たちが目指す100億企業は、単なる規模拡大ではなく、工芸企業のパイオニアとして経済的・文化的持続可能な成長モデルを実現し、日本の文化と工芸が世界の文化と経済の中核へと進化する未来を描いています。細尾は、伝統を未来につなぐサステナブル経営の旗手として、工芸が日本の新たな成長産業として再評価される社会の実現を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題



課題

- ・生産能力の増強と生産効率化
- ・技術革新への投資（デジタルと伝統技術の融合、ESG）
- ・更なる海外市場開拓とグローバルブランディング強化
- ・職人育成と技術継承の体系化及び非労働集約型モデルの強化
- ・デジタル&グローバルマーケティングと越境ECの強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・西陣織1200年の歴史に基づく地域に根付いた協業ー“循環型地域サプライチェーン再構築”
- ・グローバルでのESG経営（GOTS認証、自社畑植物栽培/植物染、建物設備再エネ化100%、社用車100%EV化、SBT認定取得済）
- ・サステナブル製品開発と環境配慮型製造プロセス
- ・最新鋭設備導入と生産体制のスマート化
- ・海外拠点増設（パリ・NY・LA・ドバイ・香港）
- ・LVMHメティエダールをはじめとする他社協業による、日本産シルクの再興・プレミアム化

実施体制

- ・西陣織1200年の歴史に基づく強固なネットワークー地域サプライチェーン再構築ー地域に根付いた協業体制強化
- ・海外売上比率、平均年収、従業員数の半年毎のモニタリング
- ・社長・副社長直轄での経営戦略委員会立ち上げと、海外営業、製造、研究開発チームを強化
- ・海外経験豊富なグローバル人材の積極採用と持続的賃上げ
- ・大学や研究機関との産学連携を強化（東京大学/同志社大学大学院等）
- ・日本産シルク再興/プレミアム化への新たなR&D・製造体制構築

グループ構成・売上高詳細

【スキーム図】

グループ全体
で100億宣言

株式会社細尾（親会社）：

- ・ 1200年の西陣織技術を現代に再構成し、素材・商品開発・製造・販売・伝統工芸ネットワークの統括を担う
- ・ 日本国内の染織作家産地との関係性を活かし、川上～川中の価値創出を推進
- ・ 着物事業、テキスタイル事業を行い、テキスタイル事業を主軸とする

- 🏠 伝統 × 革新
- 🎨 デザイン
- 🌐 海外市場

着物事業

テキスタイル事業

株式会社細尾
本社・
生産企画・生産機能

- 🔄 循環
- 🌟 価値創出
- ✅ 成長

株式会社KSH
材料調達・
素材研究開発機能

細尾社-KSH社グループ連携の意義・目的、相乗効果

- ・ 垂直統合で品質・供給を安定化・最大化
- ・ 素材開発～商品展開まで一貫した価値創出
- ・ 伝統継承 × イノベーションによるブランド強化
- ・ 日本シルク産業の再興/養蚕副産物の新市場創出

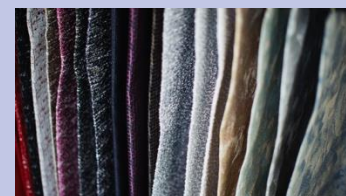
- 🧬 DNA
- 🐛 蚕
- 🧶 糸
- 🌱 サステナブル

養蚕・製糸事業

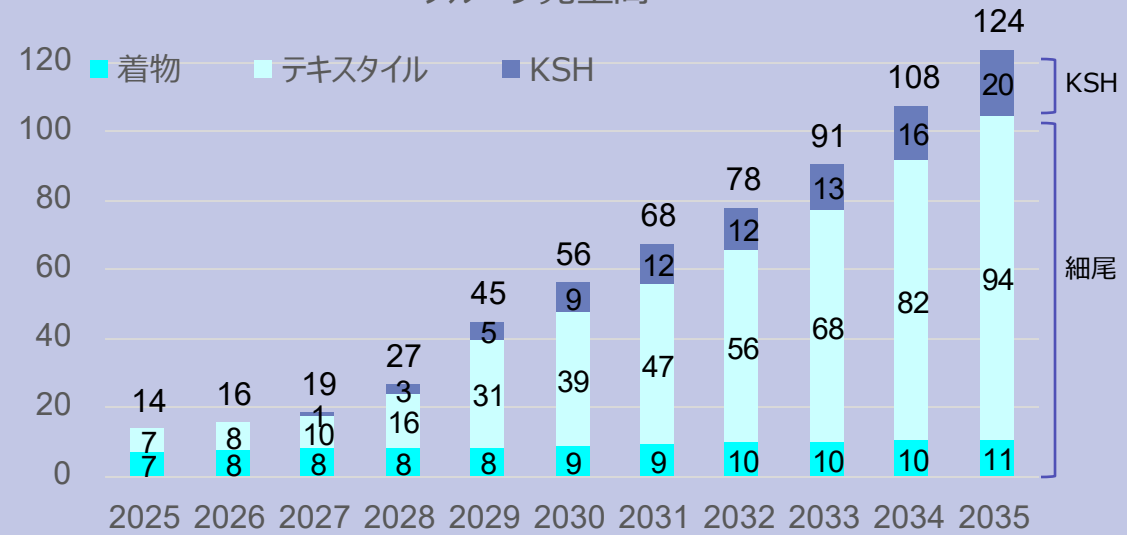
テキスタイル事業

株式会社KSH / Kyoto Silk Hub（子会社）：

- ・ シルク素材研究開発・養蚕・製糸・素材販売を担当
- ・ 最高級国産シルク分野での国内着物市場/国内外テキスタイル事業/養蚕副産物新規事業販路開拓・顧客開発・ESG対応を担う
- ・ 非労働集約型のサステナブルな生産体制の構築
- ・ ラグジュアリー市場向け絹糸の安定供給
- ・ Kyoto Silk Hubブランドの確立と日本養蚕業復権の騎手
- ・ 蚕DNAからオーダーメイドなシルクづくり



グループ売上高



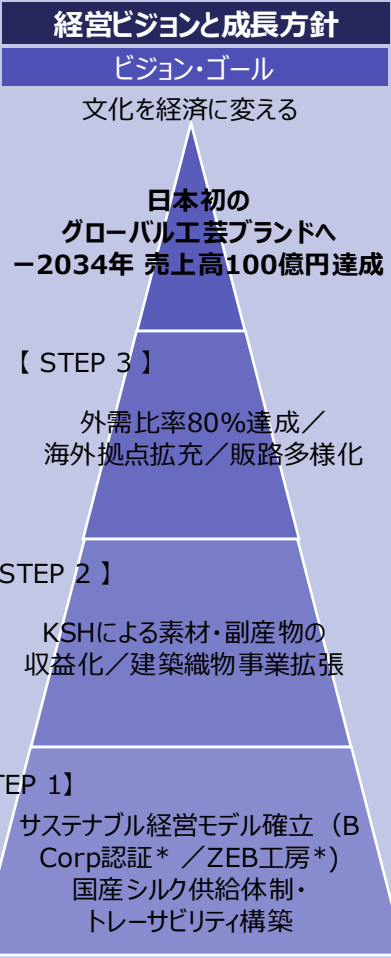
100億
達成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

サステナブル製品開発と環境配慮型製造プロセス

B Corp認証*取得（2026年予定）を見据えたグローバルESG経営を推進中。

織機や素材、工房、流通・販売に至るまで、ライフサイクル全体での環境負荷削減を図り、国際的な環境・倫理基準・市場需要に適合した付加価値の高いものづくりを目指す。



取組内容 ★ 関連SDGs: #12, #13, #9			
環境配慮型製造プロセスー高付加価値収益モデルへの転換の要			
	取組内容	概要	効果・訴求ポイント
	GOTS認証糸への切替	2025年度(2026/6期)導入開始予定	世界標準のエシカル素材、全行程トレーサブル
*GOTS認証: オーガニック繊維製品の国際基準で、原料から製品まで、環境や社会に配慮した方法で製造されていることを証明するもの。GOTS認証マークが付いている製品は、オーガニック繊維が70%以上使用され、環境、社会、化学の面でも厳しい基準を満たしていることが保証される。			
	再生可能エネルギー導入／ZEB型工房化	細尾工房：100%完了／協力工房も進行中	地元再エネ（京都・丹波地域企業へ発注・バイオマス）
*ZEB型工房: ZEB（ゼブ）とは、快適な室内環境を保ちながら、建物で消費するエネルギーを正味（ネット）でゼロにすることを目指す建築物。具体的には、高断熱化や高効率な設備システムの導入により、エネルギー消費量を削減し、太陽光発電などの再生可能エネルギーを導入することで、エネルギー収支をゼロにすることを目指す。			
	自社畑での絶滅危惧種を含む植物栽培と植物染による製品開発	2020年設立の古代染色研究所による、自然共生型の環境・ものづくりを実現	地域連携による環境負荷低減と循環型資源の活用
	社用車100%EV化	2025年度(2026/6期)全車完了予定	日常業務からCO2排出ゼロを実現
	SBT認定取得済（-42%目標）	2030年CO2削減目標（2023年比）	科学的根拠に基づく国際信頼確保
*SBT認証: 企業がパリ協定に準じた温室効果ガスの排出削減目標を設定していることを示す「国際認証」・国際的イニシアチブ。			

未来への細尾のアクション

文化×サステナ×経済の先駆者として

🟢 グローバル市場の潮流と当社の立ち位置

- グローバル市場における販路拡大・世界トップブランド（例：LVMH）との協業においても、「環境対応力」が新たな参入条件に。
- 単なる“伝統工芸の保存”ではなく、「日本の文化を国際基準で未来に繋ぐ」産業モデルを牽引。
- 環境基準・認証取得（GOTS, SBT, 再エネ、EV化等）と技術革新（高機能センサー搭載革新織機、トレーサビリティ等）を両立。
- 「伝統×テクノロジー×エシカル」の交差点から世界へ発信。

SDGs No.		概要	主な関連施策
#12		責任ある消費と生産	GOTS認証、原材料・製造・流通・再エネ、EV、使用・廃棄までの全天然染料 体最適
#13		気候変動に具体的対策を	CO2削減、SBT認定 製造プロセス改善、エネルギー転換
#9		産業と技術広幅織機、革新の基盤をつ	技術・製品革新、トレーサビリティ 新

*B Corp認証: B Corporation（BCorp）とは、米国の非営利団体B Labによる国際認証制度。厳格な評価のもと、環境や社会に配慮した公益性の高い企業に与えられる。

細尾 / HOSOO Works



細尾 / HOSOO Works



レクサスLS（内装素材 ドア周囲用生地：世界標準搭載）



フォーシーズンズホテル京都（ヘッドボード）



ザ・リッツ・カールトンホテル東京（ヘッドボード）



セントレジス大阪（椅子張地）

細尾 / HOSOO Works

